

農林水産研究の重点目標の検証(平成22～24年度)判定一覧

重点目標	判定
1 食料安定供給研究	
1 農業の生産性向上と農産物の安定供給	
1) 地域の条件を活かした高生産性水田・畑輪作システムの確立	A
2) 自給飼料を基盤とした家畜生産システムの開発	A
3) 園芸作物の高収益安定生産システムの開発	A
4) 地域特性に応じた環境保全型農業生産システムの確立	A
5) 家畜重要疾病、人獣共通感染症等の防除のための技術の開発	S
2 水産物の安定供給と持続可能な水産業の確立	
1) 生態系と調和した我が国周辺水域の水産資源の持続的利用技術の開発	A
2) 効率的な漁業生産技術及び漁業経営体質強化を図るためのシステムの開発	A
3 高度生産・流通管理システムの開発	
1) ITやセンシング技術、RT・AI等の革新的技術を農林水産分野に導入することによる高度生産・流通管理システムの開発	A
4 食品の安全と消費者の信頼の確保	
1) 食品の安全性向上のための技術の開発	A
2) 消費者の信頼確保のための技術の開発	A
2 地球規模課題対応研究	
1 地球温暖化への対応とバイオマスの利活用	
1) 地球温暖化に対応した総合的な農林水産技術の開発	A
2) 国産バイオ燃料・マテリアル生産技術の開発とバイオマスの地域利用システムの構築	A
2 開発途上地域の農林水産業の技術向上	
1) アジアやアフリカを中心とする開発途上地域における農林水産業の技術向上のための研究開発	A
3 新需要創出研究	
1 高品質な農林水産物・食品の開発	
1) 農林水産物・食品の機能性解明及び機能性に関する信頼性の高い情報の整備・活用	A
2) ブランド化に向けた高品質な農林水産物・食品の開発	A
3) 農林水産物・食品の高度生産・加工・流通プロセスの開発	A
2 新分野への展開	
1) 新たな生物産業の創出に向けた生物機能利用技術の開発	A

重点目標	判定
4 地域資源活用研究	
1 農山漁村における豊かな環境形成と地域資源活用	
1) 農地・森林・水域の持つ多面的機能の発揮と農山漁村における施設・地域資源の維持管理技術の開発	B
2) 農林水産生態系の適正管理技術と効果的な野生鳥獣被害防止技術の開発	A
2 森林整備と林業・木材産業の持続的発展	
1) 森林が有する多面的機能を発揮するための森林整備・保全技術の開発	A
2) 林業・木材産業の持続的かつ健全な発展に資する技術の開発	A
5 シーズ創出研究	
1 農林水産生物に飛躍的な機能向上をもたらすための生命現象の解明・基盤技術の確立	
1) 農林水産生物の生命現象の生理・生化学的解明	S
2) 生物機能の高度発揮に向けた植物、昆虫、動物や微生物の環境応答・生物間相互作用機構の解明	A
3) 自然循環機能の発揮に向けた農林水産生態系の構造とメカニズムの解明	A
4) ゲノム情報等先端の知見の活用による農林水産生物の改良技術の開発	A
2 遺伝資源・環境資源の収集・保存・情報化と活用	
1) 遺伝資源・環境資源の収集・保存・情報化と活用	A
6 原発事故対応研究	
1 農作物・農地等における放射性物質対策研究	
1) 農地土壌等の除染技術及び農作物等における放射性物質の移行制御技術等の開発	S
2) モニタリングによる農地土壌等における放射性物質の動態の解明	A

判定基準

S: 計画を上回って進捗している。顕著な業績がみられる。

A: 全体として順調に進捗している。

B: 進捗がやや遅れている。研究推進に注意を要する。

C: 進捗が遅れている。目標達成は困難とみられる。